

ルッキズムにも ほどがある！

ルッキズム、最近よく耳にする言葉である。見た目でその人を評価し、それが差別につながるという批判で、「美人○○」とか「イケメン△△」という表現が問題になるらしい。その背景を考えてみると、その人の外見を美人だとかイケメンだと思う人が社会の大半であればこの表現が問題になるのか、はたまたそうでなくても批判の対象になるのだろうか。外見をどう感じるかは単に個人の感覚であって、内面まで批判される謂れはないようにも思う。となると表明することそのものがアウトなのかもしれない。

ドラマや映画のキャスティングを考えてみる。いわゆる人相の悪い「悪役商会」の人たちは、社会の大半の人々が同じ印象を抱くからその役柄への起用が成立している。清純そうな少女の役、いかにも不倫しそうな女性の役、パワハラしそうな男性上司の役、インテリジェンスが高そうな役などなど、どれをとっても社会の大半の人々が潜在的に感じる印象を汲み取ってキャスティングしているはずである。ある役柄に選ばれなかったからといって「差別だ！」と主張する俳優さんはいないと思う。

そもそも人々は初対面の人に対し、意識するしに関わらず、まずは外見に対しなんらかの印象を持つ。会う前に何らかの情報を得ていた場合でも頭の中にぼんやりとした印象を形成していると思う。そして実際に会って言葉を交わしながら、あるいはしぐさや表情をみながら、場合によってはそこはかとなく香ってくる匂いまで自分の印象に影響を与えるだろう。そのように印象が徐々に



固まっていくことを、野矢茂樹は『相貌』という言葉を使って「相貌が立ち現われる」と表現している。『相貌』の形成過程で、ルッキズム的判断の影響は除外しえないのではないだろうか。

進化の上で人間の強みは集団で行動できることだという。原始の時代においては自身の属する集団以外の人と接触する場合、まずは警戒しつつ外見から判断していたと思う。そしてコミュニケーションを通して警戒を解くか、ますます強めるか、次のステップに移る。ルッキズム的判断はいわゆる直観に基づくもので、人間の本能と切っても切り離せないものなのだろう。

髪を染める、歯の矯正をする、髭を伸ばす、脱毛サロンに通うなどなど。服のセンスはどうなんだろう。トランプ元大統領の綺麗に揃った白すぎる歯も気になるが、アメリカ社会で出世するには歯並びや歯の白さは重要な要素らしい。サルトルのアンガージュマン的には、このような行動を実際にとるということはほんの少しルッキズムを肯定していることになるのだろうか。

ルッキズムをベースとした批判は、ハラスメントとも表現される。最近、テレビなどでは女性に対するハラスメントはかなり気をつけられているが、一方で中年男性を弄って笑いをとる場面はまだまだ見られる。場合によっては本人自身が自虐的にそれを笑いにしている場面も目にするが、それが外見に関するものならばこれもいわゆるルッキズムだとも言える。

ルッキズム以外にも、声に関するボイシズム、匂いに関するスメリズムという言葉もあるらしい。美の基準に普遍的なものではなく時代や場所によって異なるのであれば「ルッキズムにもほどがある！」と小さく叫びたい。いずれにせよもう少し寛容な世の中になって欲しいものである。

参考資料

中森明夫 麻生失言ってルッキズム？

産経新聞 令和6年3月3日

野矢茂樹 語りえぬものを語る 講談社 2011年

日医FAXニュース

2024年(令和6年)7月19日 3239号

- 医療DX加算、8～11点の3段階に
- 情報取得加算の存続、支払い側に不満
- 確保病床数、6月時点で「3万6918床」
- コロナ定点、沖縄29.92・鹿児島23.13

2024年(令和6年)7月23日 3240号

- かかりつけ医機能、報告書を作成
- 中間年改定論戦がキックオフ
- コロナワクチン定期接種、10月以降で
- 小児20価肺炎球菌ワクチン、定期接種に

2024年(令和6年)7月26日 3241号

- 日医、新執行部発足でパーティー
- コロナ、九州・沖縄で「入院調整」も
- 解熱・去痰薬「引き続き供給不安に対応」
- 広域型連携、対象人数は「経過措置」に
- 厚労省、処方箋保存期間見直しへ

2024年(令和6年)7月30日 3242号

- 来夏の参院選、1次公認に釜谷氏
- 自民公認で「決意新たに」
- コロナ治療・対症療法薬、増産と安定を
- 「お祝い金」で許可取り消しも
- 処方箋・調剤録は「5年保存」へ
- コロナ定点、佐賀31.08
- 手足口病13.34、「かなり多い」
- 熱中症に関する動画を公開

2024年(令和6年)8月2日 3243号

- 施行9年の医療事故調、「再周知を」
- 救急救命士の破膜処置、考え方を整理へ
- 社会保障の自然増、「4,100億円」に
- 新興感染症対応、改定GLが大筋固まる
- 小児のPCV20、10月から定期接種に
- 50代開業医、週60時間超勤務「33.7%」

2024年(令和6年)8月6日 3244号

- ARIの報告「負担・費用も配慮」
- 重症熱性血小板減少症候群「Q & A」更新
- 介護の処遇状況、秋に調査へ
- がん登録情報、病院への提供が最多
- 釜谷副会長が解説動画を制作
- コロナ定点、佐賀31.38
- 手足口病、11.72で「多い」

2024年(令和6年)8月9日 3245号

- 日医、概算要求へ要望書
- 日医の会員数、17万7,170人で過去最多
- HPVキャッチアップ接種、啓発活動強化
- 医学誌「JMA Journal」、JIFを取得
- 「女性医師バンク」、男性医師も登録を

2024年(令和6年)8月23日 3246号

- 医師偏在対策「1,000億円規模の基金を」
- 特定機能病院の機能整理へ
- 出産の報酬「50万円以内」、報道に懸念
- 災害時、ICTの有効活用を